

十四山中学校跡地利活用における整備方針（案）に対するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

|         |  |     |     |
|---------|--|-----|-----|
| 案件名     | 十四山中学校跡地利活用における整備方針（案）                                   |     |     |
| 募集期間    | 令和7年8月1日（金）から令和7年9月1日（月）まで                               |     |     |
| 担当課     | 教育部 生涯学習課  |     |     |
| 募集結果の概要 | 十四山中学校跡地利活用における整備方針（案）に対する意見を募集した結果、11人から36件の意見が提出されました。 |     |     |
| 意見提出数   | 持参   | 3人  | 4件  |
|         | 郵送   | 3人  | 4件  |
|         | ファクシミリ   | 2人  | 6件  |
|         | 電子メール  | 3人  | 22件 |
|         | 合計   | 11人 | 36件 |

#### 提出された意見と市の考え方

| No. | 意見・提言の内容   | 市の考え方  |
|-----|--|--|
| 1   | 1.今の状態のまま、全国で活躍している星野リゾートに相談をしてはどうでしょうか。                 | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>令和6年6月から市ホームページや国土交通省の「公的不動産ポータルサイト」などで「公有財産の活用アイデア募集」を掲載しておりましたが、現在まで民間事業者からの提案はない状況であるため、本市より星野リゾートに提案（相談）することはありません。 |
| 2   | 1.卓球、軽運動、少人数で使える多目的室の様な施設を教室に作るのはどうでしょうか。                | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>校舎については、具体的な用途及びどの範囲を利活用するのかを検討しているところであり、いただいたご意見も参考にしながらさらに検討してまいります。   |
| 3   | 1.南海トラフの予想で、現在の市の防災計画では不十分だと思います。避難所のトイレ設置、食料の備蓄などが必要です。 | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>各避難所のトイレや食料等の備蓄品については、今後も適正配備に努めてまいります。またいただいたご意見を参考にしながら検討してまいります。   |
|     | 2.十四山地区は、特に高い建物がないから、公共施設の避難所が必要だと思います。                  |  |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 4 | 1. グランドはそのまま、校舎をリフォームして、子どもたちが室内で遊べる施設（今流行りのトランポリンやボルタリング）などを作ってほしい。子どもたちが遊べる場所、親も安心できる弥富市を作ってほしい。 | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>校舎については、具体的な用途及びどの範囲を利活用するのかは、検討しているところであり、いただいたご意見も参考にしながら検討してまいります。</p>  |
|   | 2. 避難所がなくなったら、どこに避難すれば良いですか。目の前にあった避難所がなくなるのは、不安です。  | <p>市民の皆様が不安にならないよう、市指定の避難施設の増加に努めてまいります。また避難施設の最新情報に関しては、市ホームページで確認することができますので、ご活用いただきますようお願いいたします。</p> <p>既存の南校舎につきましては令和 10 年 4 月までは解体しないと決定しております。よって災害時には避難をしていただくことは可能でございます。</p> <p>また令和 10 年 4 月より開校しますよつば小学校は、現在の十四山西部小学校校舎を増改築し、整備されます。よつば小学校におきましても、避難所及び緊急時避難場所として指定予定でありますので、十四山地区の避難所収容人数は増加することになります。まずは安心していただけると考えております。</p> <p>災害時に避難する際、何処の「避難所」または「緊急時避難場所」へ避難するのかは、市民の皆様がご自身で選択をして、避難行動を取っていただくことになります。災害はいつ発生するか分かりませんので、日頃から自分の命は自分で守る自助の観点でご自身の行動範囲を考慮し、各自が一番適した避難先を事前に決めておいて、災害に備えていただきますようお願いいたします。</p> |
| 5 | 1. 「行政需要を踏まえ、南部地域のグラウンドの統合先とする」については、反対です。   | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>よりよい施設になるよう検討してまいります。</p>  |
|   | 2. 「利活用する既存校舎等は、地元住民の意向および意見も反映させる」については、よりよい施設にしていきたいと思います。                                       |  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 6 | 1.グランドと既存校舎等は一体利用として考える。  | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>市としましては、現在のところ一体利用として検討しております。  |
|   | 2.防災を最重要に位置づけるべきではないか。  | 防災に関しましては、市民の安全安心の確保を踏まえた検討をまいいます。   |
|   | 3.民間事業者の需要がないのは、公共交通機関の良好なアクセスがないことがあるので、良くすることを考える。鉄道業者3社が集まった駅があるので活かすべきではないか。バスの中継地とすれば、バス利用者也呼び込む、民間企業に魅力的な市場になるのでは。                                      | いただいたアイデアですが、市単独では非常に困難な計画だと考えます。現在、民間事業者に対してもアイデアの募集を行っていますが、現在まで提案はありませんでした。そのような状況で、官民一体になっての開発も困難であると考えております。市としては、既存校舎の利活用により、よりよい施設となるよう検討をまいいます。                      |
|   | 4.防災施設としては、宿泊前提の施設が望ましい。演劇やコンサートホールを併設し、そこで活動する人の宿泊施設とし、災害時は避難施設とする。以上を要約すると、1階はバスターミナルや商業施設、2階は観劇施設、3階以上が宿泊施設及び備蓄倉庫。建築コストは想像できないが、市役所が50数億なら、同程度の建設は可能ではないか。 |  |
| 7 | 1.防災を充実した施設にするべき。低成長と少子高齢化時代に落ち着いて暮らしやすい街をどう作るか、この時代特にこの弥富では防災を中心に考えてほしい。   | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>防災に関しましては、市民の安全安心の確保を踏まえた検討をまいいます。  |
| 8 | 1.全市が0m地帯にもかかわらず、避難タワーなるものがない。十四山保育所では高さが低い。屋上は屋根もない。災害時における避難タワーを作ることが重要だと思う。人口を増やすには、子育て世代が安心して暮らせるようにアピールしていけば、呼び込めるのでは。行政はもっと住民の命、生活を守るために早急な実現を求める。      | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>現在、避難タワーを建設する計画はございません。しかし4-2.で回答させていただきましたが令和10年4月には、よつば小学校が開校し、避難所及び緊急時避難場所として指定予定であります。また既存の南校舎につきましては令和10年4月までは解体しないと決定しております。まずは安心していただけると考えております。 |
| 9 | 1.台風や地震などの人々の安全のため、校舎を避難場所としてほしい。   | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>防災に関しましては、市民の安全安心の確保を踏まえた検討をまいいます。  |
|   | 2.運動場は地域社会のため、青少年育成に使用してほしい。例として、野球場、ソフトボール場など。   | よりよい施設となるよう検討をまいいます。   |

|    |   |  |
|----|---|--|
| 10 | <p>1.HP の募集のお知らせ文</p> <p>個別の回答拒否:「頂いたご意見に対して個別の回答はいたしかねますので、ご了承ください」という姿勢は、意見を提出する市民にとって、自分の声が行政に届いているのか、どのように受け止められたのかがわからないという不信感につながる可能性があります。市民の貴重な時間と労力を要する意見提出に対して、行政はより丁寧なフィードバックを検討すべきです。</p>   | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>市民の皆様からのご意見は大変貴重だと考えております。今回のパブリックコメントに寄せられたすべてのご意見に対しまして、市の考えとして、ご回答をさせていただきます。またそのご回答はホームページで公表する形でフィードバックいたします。</p>   |
|    | <p>2.HP の募集のお知らせ文</p> <p>募集期間の短さ: 募集期間が令和7年8月1日から9月1日までと、わずか1ヶ月間しかありません。PDF の整備方針案を読み込み、内容を理解し、意見をまとめるには十分な時間とは言えません。特に、子育て世代や多忙な社会人にとっては、この期間にじっくり検討することが困難です。</p>                                     | <p>いただいたご意見につきましては、今後の事務運営の参考として活用させていただきます。</p>   |
|    | <p>3.整備方針の目的</p> <p>前提条件の不備: 弥富市が策定した「弥富市学校跡地利活用基本方針」は、パブリックコメントにかけられていません。これは、住民参加と透明性を確保するという行政の原則に反しています。他の多くの自治体が同様の基本計画でパブリックコメントを実施していることから、弥富市の行為は「社会通念上の妥当性を欠く」と言えます。</p>                       | <p>「弥富市学校跡地利活用基本方針」は、学校跡地の利活用に関する基本的な考え方等を示したものです。今回の「十四山中学校跡地利活用における整備方針(案)」は、これを受けて具体的な整備方針や方向性をより明確に示した内容となっており、市民の皆様の幅広いご意見を反映するためにパブリックコメントを実施しました。</p>                                     |
|    | <p>4.これまでの検討経緯</p> <p>意見の反映プロセスが不透明:「この(案)は、令和7年7月26日(土曜日)に開催されました十四山中学校跡地利活用における整備方針(案)に係る住民説明会において頂きました意見を踏まえ、作成したものです。」とあるが、であれば住民説明会で出た意見と、それに対する市の考え方を一覧表にして公開し、整備方針案にどのように反映されたのかを明確に示してください。</p> | <p>住民説明会では、「既存の南校舎を活用できないか」等のご意見をいただきました。校舎の利活用に関する具体的な内容につきましては「各種説明会及びパブリックコメントで寄せられた意見を踏まえ、整備方針(案)を修正」することとし、今回お示した整備方針案にはその旨(p3)を反映させていただきました。</p> <p>なお、整備方針(案)を修正した後、改めて地域説明会を開催いたします。</p> |
|    | <p>5.これまでの検討経緯</p> <p>意見反映の不透明性:「頂いた意見を検討し、整備方針(案)を修正した上で地域への説明会を開催いたします」とありますが、その「検討」のプ</p>  | <p>今後の予定として、再度地域説明会を開催する旨を記載しました。今後の取組を進める際の参考とさせていただきます。</p>  |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>プロセスが不明瞭です。どのような基準で意見が採用・不採用と判断されるのか、また、どのような意見が「類似する意見」としてまとめられるのか、が明確に示されていません。</p>  |  |
|  | <p>6.これまでの検討経緯</p> <p>「案」の作成経緯のあいまいさ：「住民説明会において頂きました意見を踏まえ、作成したものです」とありますが、どの意見がどのように反映されたのかが具体的に示されていません。説明会で出た意見と、それに対する行政の考え方、そしてそれが「案」にどう結びついたのかというプロセスがブラックボックス化しています。</p> | <p>住民説明会では、「既存の南校舎を活用できないか」等のご意見をいただきました。校舎の利活用に関する具体的な内容につきましては「各種説明会及びパブリックコメントで寄せられた意見を踏まえ、整備方針（案）を修正」することとし、今回お示しした整備方針案にはその旨(p3)を反映させていただきました。</p> <p>なお、整備方針（案）を修正した後、改めて地域説明会を開催いたします。</p>  |
|  | <p>7.これまでの検討経緯</p> <p>地域住民より業者が優先か：本来地域の重要な財産である、中学校の跡地を地域住民の意向を聞き、地域が納得する前に、民間事業者向けにホームページに募集を掲載するのは、地域の住民を無視する失礼である。</p>  | <p>公有財産の活用アイデア募集は、情報を広く公表して意見を募ることで、民間活力導入の可能性や市場性を把握し、より良い活用策を見出すことを目的に実施しています。</p> <p>このようなサウンディング調査につきましては、発案・検討段階において民間事業者の意見や新たな事業提案の把握等を行うことで対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法として広く認知されております。</p> <p>決して地域住民の皆様の意見を無視する意図はございません。皆様のご意見やアイデアを募集した際、市から何か提案はありませんかというご意見がございましたので、今回の整備方針（案）をご示しさせていただいたところでございます。</p> |
|  | <p>8.現況の整理および建築物にかかる法規制</p> <p>恣意的な制限：「市街化調整区域」という規制や、「交通量が少ない」といった理由を挙げ、可能性を最初から排除しようとしているように見受けられます。市長や副市長が、「市民のため」ではなく「行政の都合」で判断していると疑わざるを得ません。</p>                          | <p>現況の整理としまして、現在の敷地の概要を記載しました。また、建築物にかかる法規制に関しましても、例として記載しました。記載に関して、恣意的な考えはございません。</p>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>9.上位計画等の関連計画の整理(まちづくり方針の整理)</p> <p>「学びの核」を「硬式野球場」にする矛盾:「絆などの教育目標を掲げ、生徒の成長を思いやる地域の学びの核となっていた」としながら、その「核」を野球場にするという計画は、地域住民の感情や長年の歴史を軽視していると思えません。地域の文化的・歴史的背景を単なる美辞麗句で飾っているだけではないでしょうか。かつて地域の「学びの核」であった中学校跡地を、その歴史や文化的背景と必ずしも直結しない「硬式野球場」に転用することは、地域のアイデンティティや住民の感情を軽視していると言わざるを得ません。</p> | <p>整備方針(案)では、南部地域のグラウンドの統合先として、十四山中学校の学校跡地を利活用することとしています。南部地域の既存グラウンドが硬式野球にも対応していることから、十四山中学校跡地をグラウンドとして整備する際は、硬式野球にも対応できるグラウンドを検討する必要があると考えておりますが、用途を硬式野球に限定することなく様々なスポーツが利用でき、各種イベントも開催できるような多目的グラウンドとして整備していく方針でございます。</p> |
| <p>10.上位計画等の関連計画の整理(まちづくり方針の整理)</p> <p>都合の良い「読み替え」と自己矛盾:市は複数の上位計画との整合性を主張していますが、その解釈は極めて恣意的です。例えば、「公共施設インフラの適正化」や「施設保有量の削減」「施設の統合や廃止検討」といった方針があるにもかかわらず、既に過剰である屋外運動施設を新たに(または移転して)建設しようとするのは、自己矛盾に他なりません。これらの計画は、施設の総量を減らし、財政負担を軽減することを本来の目的としているはずですが、硬式野球場の建設は、この本来の目的に逆行するものです。</p>      | <p>現在十四山中学校の学校跡地はP9に記載のとおり、屋外運動施設「十四山グラウンド」として設置しています。今後、南部地域のグラウンドを十四山中学校跡地へ統合し、統合により生じる南部地域のグラウンドの跡地について民間事業者の需要を踏まえて活用を検討することは、屋外運動施設の総量の削減につながると考えております。</p>  |
| <p>11.弥富市学校跡地利活用基本方針に基づく検討</p> <p>軟式野球場のままでいい:「主に野球で利用されてきた」という事実が、なぜ「硬式野球場の建設が必要」という結論に直結するのでしょうか?弥富中学校の野球部などの軟式野球やソフトボールの利用で十分です。多様なスポーツニーズへの配慮は意味不明。硬式野球は木曽川グラウンドでも使えるようにしましたよね。</p>   | <p>10-9.で回答させていただきましたが、用途を硬式野球に限定することなく様々なスポーツが利用でき、各種イベントも開催できるような多目的グラウンドとして整備していく方針でございます。</p>   |
| <p>12.弥富市学校跡地利活用基本方針に基づく検討</p> <p>論理破綻:屋外運動施設が既に過剰であるという自らのデータを提示しながら、さらなる施設(硬式野球場)の建設を正当化するのは、論理が破綻</p>  | <p>10-10.で回答させていただきましたが、南部地域のグラウンドを十四山中学校跡地へ統合することは、屋外運動施設の総量の削減につながると考えておりま</p>  |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>しています。「中央部に少ない」という課題に対し、市街化調整区域の跡地に硬式野球場を建設することが果たして最適解なのでしょうか？ 市民からの「いや、そうは言っても、そっちは土地があるから」という評価は、まさに市の論理の穴を突いています。</p>  | <p>す。また、屋外運動施設の課題については、P10、11 に記載しておりますが、中央部にグラウンドが少ないことに加え、産業の中核を担うゾーンの新産業エリア内に複数あることも課題となっております。</p> |
|  | <p>13.弥富市学校跡地利活用基本方針に基づく検討<br/>既存校舎解体の不透明性: 「多額の維持管理費・改修費」を理由に既存校舎の大部分を解体していますが、本当に財政負担が主な理由であれば、その具体的な試算を明確に開示すべきです。</p>   | <p>いただいたご意見につきましては、今後の検討や対応を進める際の参考とさせていただきます。</p>   |
|  | <p>14.弥富市学校跡地利活用基本方針に基づく検討<br/>整備方針案の再考と公開討論会の開催: 硬式野球場建設ありきの現行案を一旦白紙に戻し、より多様な選択肢（多目的広場、防災公園、文化施設、民間誘致の再検討など）を具体的に提示した上で、市長や関係部署の幹部が参加する公開討論会を複数回開催し、市民が納得するまで議論を尽くすべきです。</p> | <p>10- 9. で回答させていただきましたが、十四山中学校跡地の用途を硬式野球に限定する方針はありません。</p> <p>今後、いただいた意見も参考にしながら、検討してまいります。</p>       |
|  | <p>15.まとめ<br/>情報公開の徹底: 跡地利活用に関する全てのデータ（財政試算、民間からの問い合わせ状況、各施設の詳細な稼働率データなど）を包み隠さず公開し、市民が客観的に判断できる情報を提供すべきです。特に校舎解体の理由については、具体的な根拠を明確に説明してください。</p>                              | <p>今後、取組を進めていく上で、市民の皆様へは説明会等を通して、情報を提供してまいります。</p>   |
|  | <p>16.まとめ<br/>真の住民参加の実現: 意見聴取は形式に終わらせず、市民の意見が計画にどのように反映されたのか、されなかったのかを具体的にフィードバックする仕組みを構築すべきです。弥富市が、市民の声に耳を傾け、より良いまちづくりを実現することを強く求めます。</p>                                    | <p>今後とも説明会等を通じて、市民の皆さんからいただいた意見等も参考にしながら、十四山中学校跡地について、よりよい利活用を検討してまいります。</p>                           |
|  | <p>17.まとめ<br/>地域防災への配慮: 地域住民と連携した「防災拠点としての学校跡地活用計画」を策定し、具体的な訓練や備蓄体制の維持に住民が参画できる仕組みを検討すべきです。</p>   | <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組を進める際の参考とさせていただきます。</p>  |
|  | <p>18.まとめ</p>   | <p>いただいたご意見につきましては、校</p>   |

|    |  |   |
|----|--|---|
|    | 暫定的な施設の利用：「地域活性化トライアル事業」として、住民団体やNPOが安価で自由に利用できる期間を設け、新たな利活用モデルや地域コミュニティ活動の創出を促すべきです。  | 舎の利活用を検討する際の参考とさせていただきます。   |
|    | <p>19.まとめ</p> <p>暫定利用：当面の間、多目的フリースペースとして開放することを検討してください。利用希望者や団体に対し、複雑な企画書や事業計画書の提出を求めず、簡易な利用申請書のみで利用を可能とする制度を導入してください。まずは3年間程度の実験期間を設け、この期間中に様々な利用者が自由に施設を使う中で、施設の潜在的な可能性や、地域にとって本当に必要な機能を発見していく「利用方法発見プロジェクト」として位置づけてください。</p> | <p>いただいたご意見につきましては、校舎の利活用を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>しかしながら、現在のところ、既存校舎への人員の配置、清掃管理等は行っていないため、貸館は考えておりません。</p>  |
| 11 | <p>1.市の計画によれば、グラウンドにして、団体しか使えないものとなってしまいます。校舎を取り壊して、災害時の避難所も少なくなるというではありませんか。</p> <p>2.もっと市民が使いやすい施設に、誰でも使えるような複合施設、豊明市のカラットや、いなべ市のういこっちゃんね、あるいは大垣市情報センターのような施設を良いところ取りをして、市民が気軽に集える場所にすべきだと思います。</p>                            | <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>グラウンドに関しましては、幅広く皆様にご利用いただけるように検討してまいります。また校舎の取り壊しについてや避難所に関しましては、4-2.でご回答させていただきましたが、令和10年4月には、よつば小学校が開校し、避難所及び緊急時避難場所として指定予定でございます。また既存校舎の取り壊しに関しましても、令和10年4月までは解体をしないと決定をしておりますので、安心していただけたと考えております。</p> <p>今後は本市としまして、他市の施設も参考にしながら、また、整備方針のコンセプトで「豊かな自然環境のなか、地域の歴史も学び、子どもたちがスポーツを通じて「絆」をつむぐ場」としてまいりますように、市民の方が気軽に集え、活用いただける場所になるよう、検討してまいります。</p> |



問い合わせ先

教育部生涯学習課 電話 0567-65-0002 内線 104、112